

【西当別小学校】

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年度「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果分析がまとまりましたのでお知らせいたします。児童が取り組んだ、国語、算数、そして、学習等に関する児童質問紙について、全道、全国との比較しながらの分析となっています。

なお、この結果については、本校の6年生を対象に国語、算数の2教科のみの実施であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。



1. 国語・算数の調査結果

本校児童は 今回出題された学習内容に関しては・・・

教科	全道平均との比較	全国平均との比較
国語	相当高い	相当高い
算数	相当高い	高い

2. 全体的なおおよその傾向

- ★全道・全国の平均正答率と比較すると、国語、算数ともに上回っています。
- ★全国の「正答数の少ない層」の範囲に含まれる児童の割合が、相当少ないことが本校の特徴として挙げることができます。このことは、ここ数年の結果でも同様で、全道・全国の平均正答率を上回る要因となっています。

国語

1. 内容の様子・特徴的な設問

<学習指導要領 内容の様子>

学習指導要領の内容	全道平均との比較	全国平均との比較
言葉の特徴や使い方に関する事項	高い	高い
話すこと・聞くこと	相当高い	相当高い
書くこと	相当高い	相当高い
読むこと	高い	高い

＜今回の調査における特徴的な問題＞（○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題）

○ すべての設問で、全国の平均正答率を上回っていました。

○●全部で3問あった記述問題では、問題にある条件をクリアできていない子も若干おり、正答率が5割を下回る問題もありましたが、3問とも全国の平均正答率を上回っていました。無答数も少なく、全国値を下回っていました。

【記述問題では、こんな問題が出されました】

3

丸山さんの手紙では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学校の友達に主張する文章を書くことになりました。次は、丸山さんが書いた「文章の下書き」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたまま、^アころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。^イ時には、みんなが使っていた輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にうつみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、^エ工んいん空ののだと思います。^オその他にも、遊び終わったらずくに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。それでも、きちんとかたづけられ、わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。

きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづけられよという考えもあるかもしれません。確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができると思います。学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

二 丸山さんは、――部の「そうじたん当の人などがかたづけられよ」と考える人を認めるために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の――部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましょう。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



〈条件〉

○ 「そうじたん当の人などがかたづけられよ」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。

○ 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げて書くこと。
六十文字以上、百字以内で書くこと。

【正答例】しかし、遊具置き場のそうじは、かたづけで時間が足りなくなり、はきそうじやふきそうじに手が回らなくなることがあるそうです。たん当の人だけに任せると大変なので、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。（100字）

○ 漢字の問題では、「転がって」、「原因」については、8割以上の子が正しく書いていました。「積む」については6割強の正答率でした。「転がって」と「積む」は全国の平均正答率を大きく上回っていました。

● 文法の問題では、文の中にある主語と述語の関係は正しくとらえられている子が多かったのですが、修飾と被修飾との関係を正しくとらえていない子が多かったです。全国平均正答率は上回ってはいますが、選択式の問題でありながら、正答率は5割を下回っていました。

【こんな問題でした】 次頁へ

三 丸山さんは、「文章の下書き」を読み返しています。次の(1)と(2)の間に答えましょう。

(1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていた。部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。

次の部アを漢字で書いてねいに書きましょう。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。

次の部ウを漢字で書いてねいに書きましょう。

また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウ積み重ねられています。

次の部エを漢字で書いてねいに書きましょう。

かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

(2) 丸山さんは、部イとオの文について、言葉の使い方を確認しています。

次のイの文について、部「残されています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

イ 時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。

- 1 みんなが
- 2 使っていた
- 3 一輪車が
- 4 かたづけられずに

次のオの文について、部「すぐに」はどの言葉をよくわきましていますか。適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

オ その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがおぼずかしい場合もあるでしょう。

- 1 遊び終わったら
- 2 遊具を
- 3 かたづける
- 4 おぼずかしい

【正答】 ア～転がって ウ～積み エ～原因 イ～3 オ～3

2. 国語 改善の方向

- ・漢字の読み書きの指導の徹底することと実際の場面で活用することを意識して指導していきます。
- ・文の中における主語と述語、修飾語と被修飾語との関係などに注意して、主語と述語、修飾語と被修飾語を正しく照応させて文を読んだり書いたりできるように意識して指導していきます。
- ・物語文や説明文の叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるように指導していきます。

算 数

1. 領域の様子・特徴的な設問

<学習指導要領の領域の様子>

学習指導要領の領域	全道平均との比較	全国平均との比較
数 と 計 算	相当高い	相当高い
図 形	相当高い	やや高い
測 定	高い	やや高い
変 化 と 関 係	相当高い	やや高い
テ ー タ の 活 用	高い	高い

<今回の調査における特徴的な問題> (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

- 多くの設問で、全国の平均正答率を上回っていました。
- 全部で4問あった記述問題では、必要な数値を選び、適切な言葉を使って記述できる子が多く、4問中3問で全国の平均正答率を上回っていました。

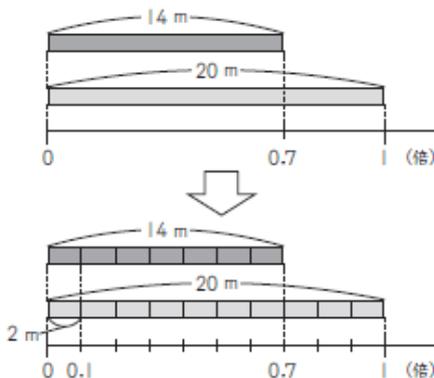
【記述問題では、こんな問題が出されました】

(3) 14 m のテープと 20 m のテープがあります。
こはるさんたちは、14 m は 20 m の何倍かについて考えています。

こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7 倍です。0.7 倍というのは、20 m を 1 としたとき、14 m が 0.7 にあたることを表していましたね。

れんと 20 m を 1 としたとき、14 m が本当に 0.7 にあたるのかな。

れんとさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20 m を 1 としたときに 14 m が 0.7 にあたるわけについて、20 m を 10 等分した 1 つ分の長さが 0.1 にあたることをもとにして考え、下のように図をかいて説明しました。



【ゆうまさんの説明】

ゆうま 20 m を 1 としたとき、0.1 にあたる長さは 2 m です。
14 m は、2 m の 7 つ分になるので、20 m を 1 としたときの 0.7 にあたります。

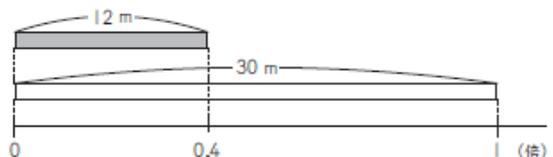
12 m のテープと 30 m のテープもあります。
たくみさんたちは、12 m は 30 m の何倍かについて考えています。

たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4 倍です。

さくら 30 m を 1 としたとき、12 m が本当に 0.4 にあたるのかな。

30 m を 1 としたときに 12 m が 0.4 にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1 にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



【正答例】

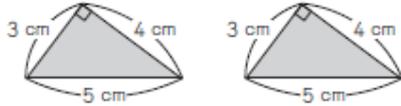
30m を 1 としたとき、0.1 にあたる長さは 3m です。

12m は、3m の 4 つ分になるので、30m を 1 としたとき 0.4 にあたります。

- 直角三角形を2つ組み合わせてできる2種類の図形の面積について、量の保存性や量の加法性をもとに捉え、比べることができず正しい選択肢を選べていない子が多くみられ、全国の平均正答率を下回りました。

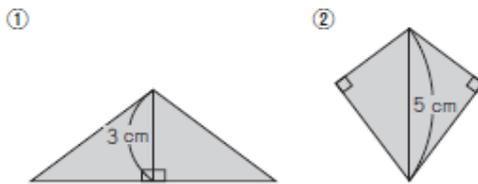
【こんな問題でした】

(2) 図1の直角三角形が2つあります。



- 1 ①の面積のほうが大きい。
- 2 ②の面積のほうが大きい。
- 3 ①と②の面積は等しい。
- 4 ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

上の2つの直角三角形を使い、同じ長さの辺どうしを合わせると、下の①や②の図形をつくることができます。



【正答】 3

上の①と②の図形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- データを二次元の表に分類整理することができる子が多く、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

【こんな問題でした】

そこで、ひよりさんたちは、5年生と6年生の189人にアンケート調査をしました。

2つの質問の結果について、下の表に整理し直すことにしました。

(3) まず、読書が好きかどうかについて、図書館で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に着目しました。

質問1 「読書が好きですか」	
はい	…… 171人
いいえ	…… 18人
質問2 「9月に図書館で5冊以上借りましたか」	
はい	…… 61人
いいえ	…… 128人

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書館で5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書館で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。

「114」は、表のどこにあてはまりますか。①から⑧までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



読書が好きなのは171人もいるのに、9月に図書館で5冊以上借りた人は61人しかいませんね。



読書が好きなのに、図書館で本をあまり借りなかった人は何人くらいいるのでしょうか。

【正答】 ②

2, 算数 改善の方向

- ・基本的な四則計算や公式を用いた計算の仕方は定着していますので、今後もドリルタイム等の時間を活用しながらより一層の定着を図っていきます。
- ・言葉や、数、式、図、グラフ等を用い、さらに、算数的用語を正しく使いながら、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり友達を説得したりする言語活動の場の充実を図ります。

児童質問紙（学習状況調査）

1, 学習に対する関心意欲について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ いくつかの設問項目から、学習に粘り強く最後まで取り組む姿勢が見られました。
- ◎ 友達の前で自分の考えや意見を発表したり友だちと話し合ったりする活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしようと意識している子の割合が高かったです。
- ◎ ノートに学んだ足跡を振り返ることができるようにと意識している子が多かったです。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- ・学習に対する興味関心を更に高めるような授業の質の向上と、苦手意識のある子どもたちに対するきめ細かい「個に応じた指導」を今後も継続していきます。
- ・言語活動の充実を図り、今年度同様、自分の考えを説明したり表現したりする方法を示し、学習の機会も保障していきます。
- ・作文指導・ノート指導等の取り組みにより、自分の考えを書き表すことへの苦手感が減り、ある程度以上の長さの文章を書けるようになってきていますので、引き続き工夫して取り組んでいきます。

2, 家庭学習について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ 家で、自分で計画を立てて学習している子が多いです。
- ◎ 学校の宿題・予習・復習にきちんと取り組んでいる子が多いです。
- ◎ 家庭での読書環境がよいことがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- ・家庭学習の取り組みがしっかりと習慣化されていることがうかがえます。今後も、授業での充実感を家庭での計画的な学習に結び付けて行くことに力を入れて行きます。
- ・学校で発行している「家庭学習のてびき」等を活用し、家庭において、予習・復習等にも自主的に取り組む姿勢を持てるようさらに指導の工夫を加えていきます。

3. その他について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子が多かったです。
- ▲ じぶんには、よいところがあると考える子の割合が全国値と比較すると少なかったです。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- ・子どもたちの規範意識も高いことが回答から伺われます。これからも、子どもたちの規範意識を高めるため、決まりを守って生活していくための確認事項や、大人も子どもも「ルールを守ることの大切さ」を意識していく等の工夫をしていきます。
- ・自己有用感にかかわる質問の値が若干低いものとなりました。コロナ禍で「お世話をして喜ばれた」「役に立ててよかった」と感じられる活動に思うように取り組めなかったことが要因と考えられます。
- ・学校では、今後も地域や社会とのさらなる連携を図り、地域の活力を学校教育の場に生かしていけるよう取り組んでいきます。

まとめ

- ★今回の調査だけで全ての児童や一人ひとりのことを判断することはできませんが、本校では、これまでのデータも加えながら、今後の指導に役立てて行きたいと考えています。
- ★今回の調査で明らかになったことについては、次のように取り組みます。
 - ① 子どもたちの傾向の分析結果について職員間で交流し、学校全体で授業改善の意識を高めます。
 - ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用し、思考力・判断力・表現力を育成することを今後も継続的に取り組んでいきます。
 - ③ 規範意識の醸成に力を入れるべく、大人も子どももルール・マナーを意識した学校生活を心掛けていきます。
 - ④ これからも児童がのびのびと取り組んでいける教育環境の整備・充実を一層図っていきます。
- ★今後もさらに児童一人ひとりの力を伸ばしていくよう努力して参ります。ご家庭でも、睡眠時間、運動時間、テレビやゲームの時間などについて、適切な目安を設定し、より一層、子どもたちの学習習慣・生活習慣が確立できるよう、ご協力をお願いします。
- ★本校の教育活動へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

次年度の全国学力・学習状況調査の日程

- ◆令和4年 4月19日（火） 実施予定
新6年生が 国語 算数 理科 児童質問紙に取り組みます。

